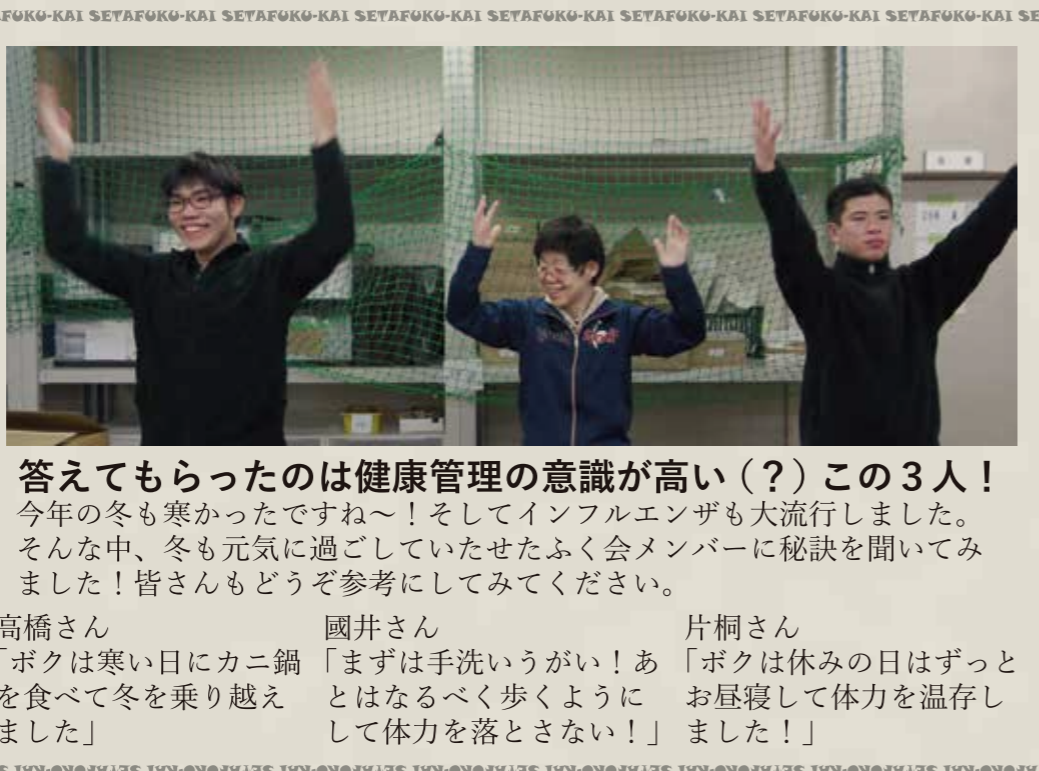


この記事は、世田谷福祉作業所利用者自治会『せたふく会』が発信するものです。



答えてもらったのは健康管理の意識が高い(?)この3人!  
今年の冬も寒かったですね~!そしてインフルエンザも大流行しました。そんな中、冬も元気に過ごしていたせたふく会メンバーに秘訣を聞いてみました!皆さんもどうぞ参考にしてみてください。

高橋さん 「ボクは寒い日にカニ鍋を食べて冬を乗り越えました」  
國井さん 「まずは手洗いうがい!あとはなるべく歩くようにして体力を落とさない!」  
片桐さん 「ボクは休みの日はずっとお昼寝して体力を温存しました!」

広告 ADVERTISEMENT

利用者のつばやき



※会話が成立しちゃってますが、まったく別々の場面でのつばやきです。

防災訓練実施中



武蔵野会後援会

社会福祉法人武蔵野会が運営する25施設と7つのグループホームの利用者のためにより良い環境や施設の充実・円滑な運営などを物心両面から支える組織として、武蔵野会後援会があります。皆さまのご理解とご協力により、会の拡大をはかり、法人の運営基盤の確立を応援していきますので、ご協力をお願い申し上げます。

〔住所〕  
〒193-0931  
東京都八王子市台町 1-19-3  
〔電話・FAX〕  
042-626-9772

ボランティア募集中

世田谷福祉作業所では、利用者が毎日おこなう作業や、外出・地域交流などのさまざまなイベントをお手伝いして下さるボランティアを募集しています。

特に11月3日に開催している地域交流行事『わいわい祭』においては、毎年、中学生から80歳代までの100名近いボランティアにご協力いただいております。

企画や運営からご協力いただける方を大募集中です!ボランティアをご希望の方は作業所までご連絡ください。

法人運営施設における改善指導等について

過日、当法人の運営施設において施設内の事故の報告に不備があり、行政より指導を受け改善報告書を提出したという件について、ご心配とご迷惑をおかけしましたこと、誠に申し訳ございませんでした。法人として、また当施設としても適切な報告についての再点検と、より一層の支援の充実を図るべくさらなる取り組みを行っています。日頃よりお力添えいただいている皆さまにはこの場をお借りして、心よりお詫び申し上げますと共に、どうか今後ともご指導、ご協力のほど、切にお願い申し上げます。

(施設長・伊藤久美子)

せたふく通信わいわい第44号

3人の新成人、大人の階段昇る



2019年1月、作業所では、植田紗世さん、澁川沙知さん、鈴木一熙さんの新成人のお祝いの式が開かれた。個性溢れる3人のスピーチ、その後の新年会では、20年の足跡がスライドショーで放映されるなど、終始、和やかな雰囲気で開催されたようだ。

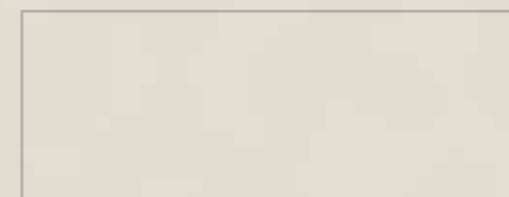
成人を祝う会のあとに開催された新年会は、『レストランシーブリーズ』特製弁当に舌鼓をうったあとは、白熱のビンゴ大会へ。アプリのビンゴマシンで機械的に読み上げられる中(?)、時には隣の人の様子を伺いながら景品ゲットをめざし白熱した展開が繰り広げられた。



わいわいコマーシャル  
Wai wAi ComMerCiAL :D

戦慄の「シンタイン」  
~血ヨコシート  
コソコソウウウウ~

事件現場あ!  
初めてのチョコココアシチュほこうして無事に閉幕



社会福祉法人武蔵野会 世田谷区立世田谷福祉作業所  
〒154-0002 東京都世田谷区下馬 2-31-34-101  
でんわ: 03-3414-0141 FAX: 03-3412-1084  
メール: m.setafuku@flute.ocn.ne.jp  
URL: setagaya2939.jp/



2018年の旅行は前号で紹介した伊豆大島の他、八景島や川越、那須高原などへ。手酌でビール、恐怖の船旅を根性で克服、レンタカーでドアtoドアの旅、買い食い&買い食い、初めての釣り体験など、さまざまな名場面を生み出した。紙面の都合上、詳しく紹介できず、読者の皆さま、本当に申し訳ない！どれもすごく楽しかったです！

ハロウィンは仮装ランチパーティー。家からフル装備で出勤した強者も。帰り道、お巡りさんに職質されないか気が気でなかった…。

12月15日、法人55周年記念交流会開催。世田谷地区が幹事だったこともあり、当日はてんてこまい。開会前のひとコマしか写真も撮れず…泣

クリスマスは趣向を変えてデザートに大福が！チキンは丸鶏！クリスマスといえばケーキでしょ！という意見もあったが、とても盛り上がった。

世田谷地区4施設合同開催のアート展『クローバーアート』福祉マラソン大会のパンフに採用されたイラストの原画も展示。作者とともに撮影！



今や地域一大イベント…というのは大げさだろうか？11月3日(土・祝)、作業所とこどものひろば公園を会場にわいわい祭が大々的に開催された。定番の焼きそばから本格カレーやタコス、フレンチ等が並ぶワールドワイドな模擬店エリア、各施設の製品販売やフリマ出店、巨大風船迷路『シーバルク』やゲーム、消防士体験等さまざまな出店にぎわう公園エリア、バンドからワークショップまで幅広い世代が楽しめたステージイベント、どこもかしこも、まさに「わいわい」にぎわった同祭、約800名の来場者を迎え、100名を超えるボランティアの協力もあり、大盛況のうちに幕を閉じた。

また、今回のわいわい祭は、『サヨナラ平成編』と題し、たまごっちやミニ四駆など、平成に大流行したものが景品として並んだり、平成大年表が展示されたりする中、『ヒ〇キ、カンゲキ賞！バー〇ントカー〇ーセット』など、昭和だったような企画・景品も紛れ込んでいた。

節分に新風？ヤッホー巻きとは せたメシ  
Setafuku's Lunch



いつからか日本中で節分のときに食べられるようになった恵方巻。作業所でもここ数年、節分の日のランチタイム(給食)には恵方巻が登場し、「良いことがありますように」と祈りながらほおぼっていた。しかし、今年は恵方巻とは違う巻きものが登場。酢飯の代わりにパンが…海苔の代わりにラップ…？中身は、ハム&チーズにジャム…??よく見たらサンドイッチロール。

エホウではなく、「ヤッホーウ！」と叫びながらサンドイッチロールを食べる。新しい節分のスタイル『ヤッホー巻き』は、作業所発信で世の中へ浸透していくだろうか。来年が楽しみだ。

これまで作業所のなかで、仕事とはなんたるか、社会人とはどうあるべきか等、さまざまなプログラムを通してメキメキ力をつけてきた就労移行支援の3人。面接会や実習のスケジュールで予定がどんどん埋まります。

特に合同面接会では15分~20分で自分を最大限アピールしないといけません。右手と右足が同時に出てしまいそうな程に緊張した様子で面接へ歩き始める姿を見て、気づけば同行する職員も左手と左足が同時に出ていたような。



いとうくみこの **こんにちは、皆さん！** Hello, Everyone!

東京都が目指す、障害のある方もない方も住み慣れた地域で生活できる共生社会の実現、世田区でも、障害があっても本人や家族が希望する地域での生活が継続できるよう、「福祉の相談窓口」の開設、地域障害者相談支援センターのバックアップの強化や総合支所等との連携など取り組んでいます。ご自宅で暮らす障害のある方の介護者の9割は親御さんです。日々の相談支援の場面では、介護する家族の高齢化からご自宅での生活が急に困難になる事や、地域のグループホームで第二の人生をスタートしても病気がケアが増えたことで入居が継続できないケースもあります。そして制度や仕組みだけでなく、ご本人の意志をどう汲み取るかという壁も…。先日、病院退院後の帰る場所がない！という緊急のケースとはいえ、関係者間での調整だけに腐心し本人の希望を何ひとつ聞いていなかった事があり、心がクラッシュしました。例えば「パーソナルアシスタンス(PA)」、重度の障害の方だけでなく必要な人にむけて整備されたらどうでしょう。地域での包括的、継続的支援を実現するには、相談窓口や成年後見、意志決定支援とは別の価値観や切り口も必要なのは、もちろん、どんな仕組みでも課題は山ほどあり実現可能か？はありますが、壁を乗り越える手だては多方向から考え、突き当たりながらも実践を重ねていきたいと思っています。

Schedule

(販売会出店予定)

3月27日(水) 10:30~

作業所正門前にて直売会予定！

区内の市民緑地で収穫したゆずを材料に使用したパウンドケーキ&クッキーを販売します！皆さまのご来店おまちしております。